

「□を使った式」の文章問題の 考え方とやり方をわかりやすく解説

「□を使った式」たし算の式をつくる

「□を使った式」とは、どういうことかということ、「わからない数」を□にして式を作ることだよ。

たとえば、次の文を見てみよう。

けんたくんは、きのうカードを16まい買いました。今日、また何まいか買うと、全部で27まいになりました。

この文には「わからない数」があるよね。

そう、「今日買ったカードのまい数」がわからないよね。

この、「わからない数」である「今日買ったカードのまい数」を「□まい」として式を作るんだ。

これが、「□を使った式」だよ。

それでは、さっそくこの文章の「わからない数」を□にして式を作ってみよう。

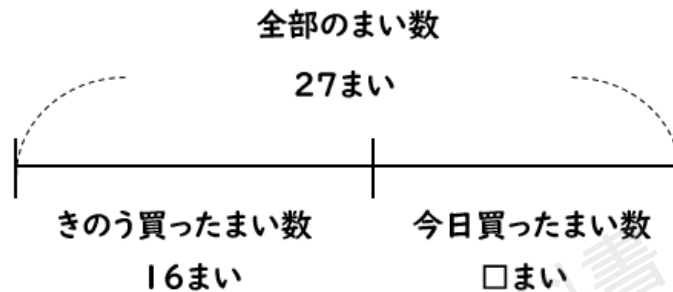
ポイントは、それぞれの数の「かんけい」にちゅうもくすること。

この文章にどうしようする数は、

「きのう買ったまい数(16)」「今日買ったまい数(□)」「全部のまい数(27)」だよ。



この3つの数のかんけいは、次のようになっているんだ。



「きのう買ったまい数」と「今日買ったまい数」をたしたものが「全部のまい数」だね。

ということは、このかんけいどおりに式を作ると
 $16 + \square = 27$ という式ができあがるよ。

わからない数を□を使って式をつくると、文の通りに式を作ることができるんだ。

□ってとてもべんりだね。

せっかく式を作ることができたので、□に入る数をもとめてみよう。

もとめ方①

$16 + \square = 27$ ということは、「16に□をたすと27になる」ので、ぎゃくに考えると「27から16をひくと、□になる」ということだよ。

だから、

$$27 - 16 = \square$$

という式になるよ。



あとは $27 - 16$ をすればいいね。

$$27 - 16 = 11$$

□ は 11 だとわかるね。

答え：11まい

もとめ方②

「 $16 + \square = 27$ 」の式の□に あてはまる数をじゅんばんに考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12…というように、□に数をじゅんばんに入れていくと、11のとき、ちょうど27になることがわかるね。

$$16 + \square = 27$$

$$16 + \boxed{9} = 27 \quad \times$$

$$16 + \boxed{10} = 27 \quad \times$$

$$16 + \boxed{11} = 27 \quad \circ$$

だから、□にあてはまるのは11だということがわかるよ。

答え：11まい

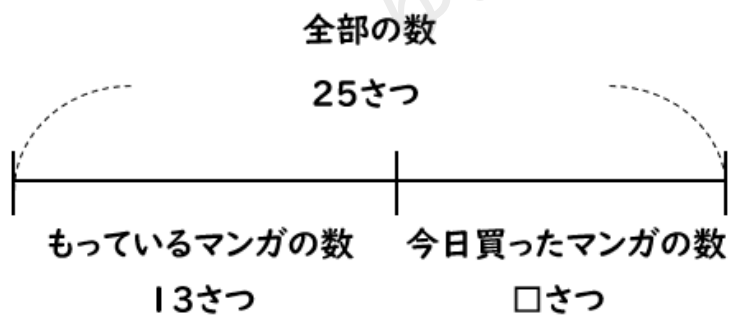


けんたくんは、マンガを13さつもっています。
 今日何さつか買ったので、全部で25さつになりました。

今日買ったマンガの数をもとめましょう。

この問題で「わからない数」は、「今日買ったマンガの数」だよ。だから、「今日買ったマンガの数」を「□さつ」として式を作るよ。

「もっているマンガの数」と「今日買ったマンガの数」をたしたら「25さつ」になるから、



文のとおり式を作ると

$13 + \square = 25$ という式ができあがるよ。

□に入る数をもとめよう。

もとめ方①

$13 + \square = 25$ ということは、
 $25 - 13 = \square$ という式になるから、
 □は12だとわかるね。

答え：12さつ



もとめ方②

13 + □ = 25 の式の □ に あてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12…と

□に入れていくと

12 のとき、ちょうど 25 になるよね。

$$13 + \square = 25$$

$$13 + \boxed{10} = 25 \quad \times$$

$$13 + \boxed{11} = 25 \quad \times$$

$$13 + \boxed{12} = 25 \quad \circ$$

だから、□ は 12 ともとめることができるよ。

答え：12 さつ

「□を使った式」ひき算の式をつくる

たろうくんは、カードを 30 まいもっています。今日、けんたくんに何まいかあげたので、カードは全部で 21 まいになりました。

けんたくんに何まいあげたでしょうか。

この問題で「わからない数」は、「けんたくんにあげたカードのまい数」だよ。

だから、「けんたくんにあげたカードのまい数」を「□まい」として式を作るよ。



もとめ方②

$30 - \square = 21$ の式の□にあてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10…と

□に入れていくと

9のとき、ちょうど21になるよね。

$$30 - \square = 21$$

$$30 - \boxed{7} = 21 \quad \times$$

$$30 - \boxed{8} = 21 \quad \times$$

$$30 - \boxed{9} = 21 \quad \circ$$

だから、9と、もとめることができるよ。

答え：9まい

もうひとつ問題を見てみよう。

同じひき算なんだけれど、□の場所がちがうんだ。

じろうくんは、カードを何まいかもっています。今日さぶろうくんに12まいあげたので、残りは全部で20まいになりました。

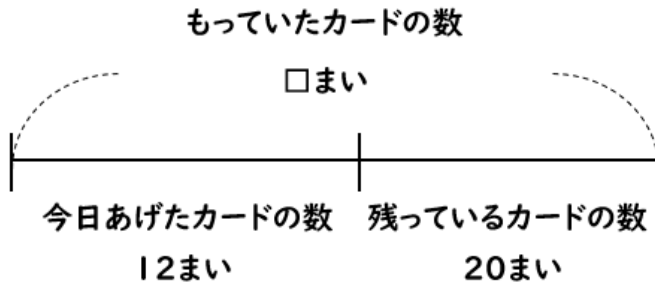
じろうくんは、カードを何まいもっていたでしょうか。

この問題で「わからない数」は、「じろうくんがもっていたカードのまい数」だよ。

だから、「もっていたカードの数」を「□まい」として式を作るよ。



「もっていたカードの数」から「今日あげたカードの数」をひいたら「残り20まい」になるから、



文のとおりになしを作ると

$\square - 12 = 20$ という式ができあがるよ。

\square に入る数をもとめよう。

もとめ方①

$\square - 12 = 20$ ということは、

$20 + 12 = \square$ になるから、

\square は32だとわかるね。

答え：32まい



もとめ方②

さっきの式の□にあてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10・・・

30、31、32と □に入れていくと

32のとき、ちょうど12になるよね。

$$\square - 12 = 20$$

$$30 - 12 = 20 \quad \times$$

$$31 - 12 = 20 \quad \times$$

$$32 - 12 = 20 \quad \circ$$

だから、32ともとめることができるね。

答え：32まい

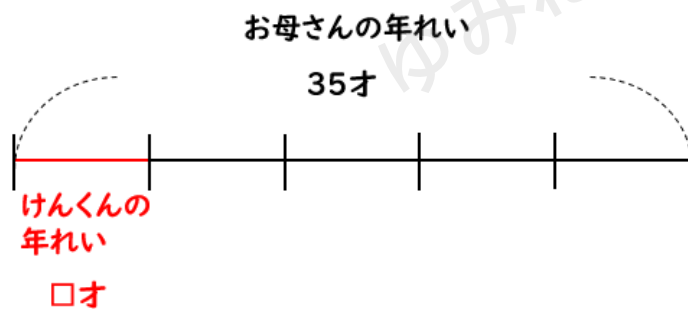


「□を使った式」 かけ算の式をつくる

お母さんの年れいは、けんくんの年れいの5倍で35才です。
けんくんは何才ですか。

この問題で「わからない数」は、「けんくんの年れい」だよ。だから、「けんくんの年れい」を「□才」として式を作るよ。

「けんくんの年れい」を5倍したら、「お母さんの年れい」になるから



文のとおりには式を作ると

$\square \times 5 = 35$ という式ができあがるよ。

あとは、□に入る数をもとめることができればOK。

もとめ方①

35を5等分した1つ分が

「けんくんの年れい」だから、

$35 \div 5 = 7$ で

7才だとわかるね。



もとめ方②

$\square \times 5 = 35$ という式の \square にあてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10・・・と

\square に入れていくと

7 のとき、ちょうど 35 になるよね。

$$\square \times 5 = 35$$

$$5 \times 5 = 35 \quad \times$$

$$6 \times 5 = 35 \quad \times$$

$$7 \times 5 = 35 \quad \circ$$

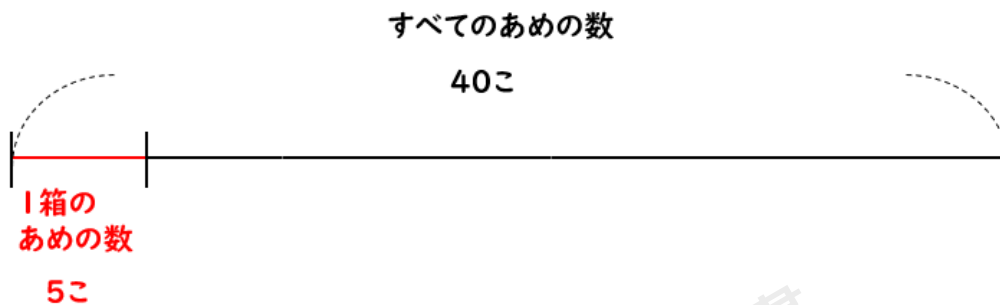
だから、けんくんは7才ともとめることができるよ。

1箱5こ入りのあめを、何箱か買ったなら、あめは全部で40こになりました。何箱買ったかをもとめましょう。

この問題で「わからない数」は、「買った箱の数」だよ。

だから、「買った箱の数」を「 \square 箱」として式を作るよ。

「1箱のあめの数5こ」を何倍かしたら、「すべてのあめの数40こ」になるから



文のとおりにな式を作ると

$5 \times \square = 40$ という式ができあがるよ。

あとは、 \square に入る数をもとめることができればOKだね。

もとめ方①

図を見ると、

40こを5こずつにわけたらいいから

$40 \div 5 = 8$ 箱だとわかるね。

$5 \times \square = 40$ という式から ぎゃくに考えても

$40 \div 5$ をすればいいということがわかるね。

もとめ方②

$5 \times \square = 40$ という式の \square にあてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10…と \square に入れていくと、8のとき、ちょうど40になるよね。

$$5 \times \square = 40$$

$$5 \times \boxed{6} = 40 \quad \times$$

$$5 \times \boxed{7} = 40 \quad \times$$

$$5 \times \boxed{8} = 40 \quad \circ$$

だから、箱の数は8箱と求めることができるよ。



「□を使った式」わり算の式をつくる

クッキーが何まいかあります。6人で同じ数ずつわけたところ、1人分は4まいになりました。クッキーは全部で何まいありましたか。

この問題で「わからない数」は、「全部のクッキーのまい数」だよ。だから、「全部のクッキーのまい数」を「□まい」として式を作るよ。

「全部のクッキーのまい数」を6等分したら、「1人分のまい数」になるから



文のとおりには式を作ると

$\square \div 6 = 4$ という式ができあがるよ。

あとは、□に入る数をもとめることができればOKだね。

もとめ方①

図を見ると、

1人分が4まいで、6人いるから、

全部のまい数は

$4 \times 6 = 24$ まいと求められるよ。



$\square \div 6 = 4$ という式から ぎゃくに考えても 4×6 をすればいいということがわかるね。

もとめ方②

$\square \div 6 = 4$ という式の \square にあてはまる数を考えていくよ。

1、2、3、4、5、6、7、8、9、10…

20、21、22、23、24と

\square に入れていくと

24 のとき、ちょうど4になるよね。

$$\square \div 6 = 4$$

$$22 \div 6 = 4 \quad \times$$

$$23 \div 6 = 4 \quad \times$$

$$24 \div 6 = 4 \quad \circ$$

だから、24まいともとめることができるよ。

「 \square を使った式」の文章問題の考え方とやり方のまとめ

「 \square を使った式」の文章問題の考え方とやり方

- ・「わからない数」を \square として、式を作ると、文の通りに式を作ることができる。
- ・ \square を使って式を作れたら、 \square をもとめる。
- ・ \square に入る数をもとめるには、図を使って考えたり、 \square に数字をじゅんばんにあてはめたりすればよい。

